

オーストラリアで就職！ Q&A



「オーストラリアの就職活動は日本と違うの?」、「面接はどんな感じなの?」など、海外での就職には分からないことがあるのはあたり前。ここでは、良くある質問について回答します。

情報提供：山口幸司 - Staff Solutions Australia

Q オーストラリアでの求人探し方や応募の仕方は?

A ケースバイケースですが、最初のステップとしては地元の新新聞や人材派遣会社、インターネットで今どういった仕事があるのか、つまり求人の相場を調べることです。インターネットの場合は、“Japanese”など自分に合ったキーワードで検索すると良いでしょう。また、もし気になる企業があるなら、ホームページなどで求人情報を確認しましょう。もし求人がなくても、その企業に興味があったらレジュメ(履歴書)をメールなどで送ってみるのも1つの方法です。インターネットで見た企業でも、個別の企業であっても最初の連絡はメールで大丈夫だと思います。でも、特に個別企業に応募した場合ですぐに連絡がないときは、メールを送った旨を目安として3日以内に電話で連絡すると良いでしょう。それで、相手の自分に対する興味や手応えなどを感じることができます。

Q 入社時期は日本では基本的に新卒は4月、中途採用は9月などですが、オーストラリアには求人応募時期などはありますか?

A 大手の金融機関や銀行などには、卒業1年くらい前から準備や選考というプロセスがありますが、基本的に求人期間ではなく、随時必要に応じて募集しています。そのため、日本で就職経験がなく、こちらでTAFEや大学を卒業したような人には日本のように決まった就職活動の期間がありません。そこで、こちらでは学生時代のアルバイトやインターンシップなどから始めて、少しずつ経験を積んで、そのままそこで就職したり、人脈を作って紹介してもらったりするのが一般的となっています。

Q 面接で特に注意することは?

A 面接で何が見たいかということ、応募者がどういう人物なのかということ。それは、日本とほぼ変わりません。ただ、オーストラリアの企業ならば、もちろん面接は英語で行われますし、日系企業でもどこかの段階で英語のチェックがあるでしょう。英語以外で注意したいことは、自分が何をやってきたという自己主張は遠慮せずに自信をもって堂々と発言したほうが良いということです。企業の社風などにもよるので、面接には正解はありません。ただし、うそは厳禁です。また、社会人としての最低限のマナーももちろん大切です。その中でまずは、自分のありのままを出してみたいでしょう。

Q 雇用の前に確認が必要なことはありますか?

A 後からトラブルになることを防ぐため、面接の最後の段階で、給与や年金、休暇のこと、役割や責任、そして退職する時の意思表示を何週間前までにやらなければいけないのかを明確にして、契約内容で分からないことがあれば納得するまで聞きましょう。日本人はしっかりと契約をすることに慣れていませんが、オーストラリアでは主張すべきところは遠慮せずにすることが常識です。

Q 就職するのに必要な英語力ってどのくらい?

A 職種によって様々ですが、オーストラリアの大学に入れる程度、もしできれば卒業ができる程度の英語力ですね。そのため、英語圏の大学を出て、日本で就職をして、オーストラリアにワーキングホリデーで来たような方は、案外すぐに短期間の仕事が見つかると思います。でも、そこまでの英語力がない方にとっては難しいと思います。

就職活動の必須アイテム、履歴書の書き方はP16をチェック! →